

経済企業委員会

平成21年3月23日（月）

午前10時47分～午前10時51分

議会第3会議室

【出席委員】福島龍一委員長、重田音彦副委員長、野口保信委員、古賀種文委員、川原田裕明委員、中野茂康委員、藤野靖裕委員、大坪繁都委員、山下明子委員、福井久男委員

【欠席委員】野中久三委員

【委員外議員】なし

【執行部出席者】なし

【案 件】

・採決・まとめ

○福島委員長

それでは、現地視察はお疲れさまでございました。ただいまから、経済企業委員会を再開いたしたいと思います。なお、野中久三委員は体調不良ということで本日も欠席でございます。以上、ご報告申し上げたいと思います。

それでは、早速ですが、採決に入ります。その前に、今回、当委員会に付託されました議案について、反対意見はございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようでございますので、一括簡易採決により採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしということでございますので、一括簡易採決により採決をいたしたいと思いません。

当委員会に付託されました第1号、第9号、第10号、第11号、第31号、第40号、第41号、第43号、第44号及び第63号議案について原案を可決すべきものとするに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしと認めます。よって、当委員会に付託されましたすべての議案について原案を可決すべきものと決定いたしました。以上で採決を終了いたします。

続きまして、委員長報告についてお諮りいたします。この部分は、掲載してほしいという強い御要望がございましたら、はい、どうぞ。

○大坪委員

売茶翁の件ですけれども、売茶翁そのものは事実であるし、非常に尊敬すべき人でもあ

るから、このことについては別に異議はございません。ただ、売茶翁が住んだであろうという、かかわりのある柴山家の住宅に対してですね、切り離して考えていくべきじゃなかろうかというふうに思います。年代も相当違うんですよ。調べてみると200年近く差がありますからね。それを同一に並べて、これを私としては認めることはできない、あの文面ではですね。区別して表現して。事業全体については問題ないんですけどね。その辺をきめ細かな表現をしていただきたいというふうに要望いたします。

○福島委員長

ブランド化推進センター整備事業の分ですよ。わかりました。

ここはかなり意見がたくさん出ております。経済部に関しては、この部分と調査の分ですね。コミュニティマート、あの部分とこの部分が非常に議論が特に集中しておったかと思えます。

それと、交通局のほうで、1便1人増によって赤字が解消できるという部分が、この部分で非常に議論が出ておりますのと、水道局はペットボトルの分と簡易水道を統合するというこの付近にかなり意見が集中しておりましたので、この付近は拾っておきたいと思えます。

あと、事務局と私と副委員長のほうでまとめてまいりますので、御希望ございましたら早目に私のほうまで、また個別にでもおっしゃっていただければ、それを盛り込みたいと思えます。山下委員、どうぞ。

○山下委員

最初のところにあった中小企業の振興資金の条例のところなどは、時期に合わせて対応されていることでもありますし、1年という対応でね、条例上。だから、そこら辺のやりとりもしておりましたので、そこはぜひ書き入れておいていただきたいということと、労働諸費の貸し付けのところも、PRの問題ですとか、いろんところでちょっとまた不足しているところがありました。そこはぜひ取り上げていただきたいなと思えます。

○福島委員長

ではほかに、ここはというのが現段階でありましたら。あとは原則一任させていただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして経済企業委員会を終了いたしたいと思えます。